

JNSA ANNOUNCE

1. セミナーのお知らせ

● JNSA、日経インターネットソリューション主催 「セキュリティ・スタジアム」セミナー

テーマ：「コンピュータ・フォレンジック」

「コンピュータ・フォレンジックとは何か？」

講師：伊原秀明氏・渡辺勝弘氏

「不正アクセスの脅威」

講師：渡辺勝弘氏

「不正アクセス調査」

講師：伊原秀明氏

「コンピュータ・フォレンジックの法的側面」

講師：牧野法律事務所

弁護士／牧野二郎氏

■日時：2003年9月10日(水)
午後1時～午後5時半 開場12時半

■会場：工学院大学新宿校舎
新宿区西新宿1-24-2

■定員：120名

■参加料金：
JNSA会員 9,000円 非会員 10,000円
*当日現金でのお支払いとなります

■お申込み：JNSA ホームページのセミナー申込みフォー
ムよりお申込み下さい。
http://www.jnsa.org/seminar_20030910.html

● Network Security Forum 2003 (NSF 2003)

開催趣旨：セキュリティの現実に鋭く切り込む目が放せ
ない3日間！！

■会期：2003年10月22日(水)～24日(金)
13：00～17：30

■会場：東京ビッグサイト 会議棟

■主催：特定非営利活動法人日本ネットワークセキ
ュリティ協会(JNSA)

■協力：日経B P社

■併催：Security Solution 2003(日経B P社)

■同時開催：セキュリティ論文審査発表(22日)

■参加料金：(22日は無料)
1日券 JNSA会員 7,000円 非会員 8,000円
2日間共通券 JNSA会員 12,000円 非会員 15,000円

■お申込み：JNSA ホームページよりお申込み下さい
<http://www.jnsa.org/nsf2003/>

■予定セッション：

22日 セキュリティ論文発表ならびに表彰式
(参加費無料)

23日・パネルディスカッション

「日本のインシデント対応体制」

モデレータ 山口 英氏

・「米国政府関連情報セキュリティ最新動向」
～2003年7月米国視察団報告～

・パネルディスカッション

「セキュリティホールに関する法制化の諸外国
状況報告と日本における提言」

情報ネットワーク法学会

24日・「講演内容未定」 高木浩光氏

・「世界的なPKIの相互運用を目指すChallenge
PKIプロジェクト」

松本 泰氏、稲田 龍氏

・「ネットワーク監視技術としてのハニーポットに
ついて」

濱本 常義氏

・「WindowsとUNIX/Linuxのセキュリティ：
2003」

小島 肇氏

これだけは知っておきたい
インターネット安全教室

～ウイルス感染、詐欺行為、プライバシー侵害などの被害にあわないために～

誰でも手軽にインターネットに接続できるようになった今日、ウイルス感染、詐欺行為、プライバシー侵害など情報犯罪の被害にあう危険性がますます高くなってきています。いかに技術が進歩しても、ひとりひとりの意識の向上、モラルの徹底がなければ、情報犯罪を防ぐことはできません。こうした状況をふまえ、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) では、家庭や学校からインターネットにアクセスする人々を対象に、どうすればインターネットを安全快適に使うことができるか、被害にあったときにはどうすればいいかなど、情報セキュリティに関する基礎知識を学習できるセミナー「インターネット安全教室」を開催することにいたしました。この「インターネット安全教室」は、経済産業省の委託により実施するもので、各地の放送局・新聞社・青年会議所・自治体・教育機関などの協力を得て、2003年10月～11月にかけて、全国10カ所で開催する予定です。

【開催時期】

2003年10月～11月

【開催場所】 () は共同開催

奈良(なら情報セキュリティ研究会)、福井(福井県高度情報化推進協議会事務局)、岡山(岡山市)、
神奈川(学校法人岩崎学園)、福岡(学校法人麻生塾)、沖縄(浦添市)、大分(財団法人ハイパーネットワーク社会研究所)、
大阪(北大阪商工会議所)、新潟(財団法人いがた産業創造機構・NPO新潟情報セキュリティ協会)、徳島、札幌
※詳細は別紙スケジュールを参照

【主催】

経済産業省

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

【協力】

各地の放送局・新聞社・青年会議所・自治体・教育機関など

【開催目的】

- ウイルス感染、詐欺行為、プライバシー侵害などの情報犯罪に対する正しい理解を広め、初心者でも安全快適にインターネットを楽しめるように啓発する
- 各地でネットワークセキュリティの啓発に関わる人々に「インターネット安全教室」セミナーのノウハウやツールを提供し、「インターネット安全教室」の活動を全国に広める
- 各地でインターネット・ビジネスに関わる人々の振興に役立てる
- 情報化月間の行事のひとつとして、情報化に対する正しい理解と認識を広める

————— **【キャラバン概要】** —————

■対象者

- ・家庭や学校からインターネットにアクセスする人々
- ・地域でネットワークセキュリティ啓発に関わる人々
- ・各地でインターネット・ビジネスに関わる人々

※1回あたり100名～300名の参加者を予定。

※全国10カ所で開催し、総計1,000名～3,000名の参加者を予定。

■開催地

各地の放送局・新聞社・青年会議所・自治体・教育機関などに協力を呼び掛け、会場の提供や参加者の募集、告知、取材、報道などの協力を得られる地域で開催する。

■構成(2時間)

「インターネット安全教室」CD-ROM(ビデオ)とテキストを用意し、インターネットのどこが危険か、どうすればインターネットを安全・快適に楽しむことができるかについて解説する。次に、参加者の中から数名に、実際に情報犯罪がどのようなものなのか、被害にあったときにはどうすればいいかといった体験学習をしてもらう。そして、当地でインターネット・ビジネスに関わる方とディスカッションを行い、インターネット・ショッピングを安全に楽しむ方法や、インターネット・コミュニティに参加する方法、公共サービスを活用する方法などを紹介する。最後に、記念に「インターネット安全教室」ステッカーなどのノベルティを配付し、インターネットにアクセスする際にどんな点に気をつければいいのか、いつでもポイントを思い出せるようにしてもらう。

1.オープニング

2.セミナー

- ・「インターネット安全教室」CD-ROM(ビデオ)を上映
- ・「インターネット安全教室」テキストを解説
- ・体験学習
- ・現地でインターネット・ビジネスに関わる方とのディスカッションや質疑応答

3.エンディング

- ・「インターネット安全教室」ノベルティとCD-ROMを配付

■JNSAセキュリティ啓発キャラバン開催スケジュール(8/20日現在)

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
			(1)奈良県 帝塚山大学			
12	13	14	15	16	17	18
	体育の日					
19	20	21	22	23	24	25
				(2)福井県 福井県中小企業産業大学校		(3)岡山県 岡山市職員研修所
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						(4)神奈川県 岩崎学園
2	3	4	5	6	7	8
	文化の日				(5)福岡県 麻生塾	
9	10	11	12	13	14	15
				(6)沖縄県 浦添市民会館		(7)大分県 大分県立芸術文化短大
16	17	18	19	20	21	22
		(8)大阪府 北大阪商工会議所				
23	24	25	26	27	28	29
勤労感謝の日	振替休日					(9)新潟県 にいがた産業創造機構
30						

2. 後援イベントの知らせ

1. 「電子署名・認証フォーラム」

会 期：2003年9/24(水)～25(木)
主 催：電子署名・認証利用パートナーシップ(JESAP)
財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)
<http://www.procom-i.co.jp/jesap/>
会 場：工学院大学新宿校舎

2. 「ネットワーク・セキュリティワークショップ in 越後湯沢」

会 期：2003年10/2(木)～4(土)
主 催：ネットワーク・セキュリティワークショップ
in 越後湯沢
会 場：新潟県南魚沼市湯沢町
<http://www.yuzawaonsen.gr.jp/conf/>

3. 「Security Solution 2003」

会 期：2003年10/22(水)～24(金)
主 催：日経BP社
会 場：東京ビッグサイト
<http://expo.nikkeibp.co.jp/secu-ex/>

4. 「Security Tech Update / Tokyo 2003」

会 期：2003年11/11(火)～12(水)
主 催：株式会社IDG ジャパン
会 場：東京国際フォーラム
<http://www.idg.co.jp/expo/nws/>

3. JNSA 年間活動 (2003年度)

4月 3日	第1回政策部会
4月18日	第1回幹事会
4月23日	理事会(九段会館)
4月24日	第1回西日本支部主催セキュリティセミナー
5月 8日	技術部会
5月21日	定期総会(スクワール麹町)
5月21日	臨時理事会(スクワール麹町)
5月22-24日	白浜シンポジウム後援
5月17日	第2回政策部会
5月28日	第2回幹事会
6月2-3日	RSA Conference 2003 後援
6月2-3日	NSF2003 spring 開催(東京国際フォーラム)
6月 9日	第1回西日本支部会合
6月13-14日	セキュリティ監査WG合宿 (晴海グランドホテル)
6月25日	第1回教育部会
7月2-4日	NetWorld+Interop 2003 Tokyo 後援
7月 9日	第3回幹事会
7月16日	第3回政策部会
7月16-18日	Wireless Japan 2003 後援
8月20日	第2回西日本支部主催セキュリティセミナー
8月28日	第4回政策部会
8月28日	第4回幹事会
9月10日	セキュリティスタジアムセミナー(工学院)
9月24-25日	電子署名・認証フォーラム後援
10月22-24日	NSF2003 開催(東京ビッグサイト)
10月～11月	全国情報セキュリティキャラバン実施
12月3日	Internet Week 2003 参加

★JNSA 活動スケジュールは、
<http://www.jnsa.org/active6.html>に掲載しています。

★JNSA 部会、WGの会合議事録は会員情報のページは、
(<http://www.jnsa.org/member/member1.html>)に掲載しています。(JNSA 会員限定です)

4. JNSA 部会・WG 2003 年度活動内容

1. 政策部会

(部会長：下村正洋/ディアイティ)

政策部会では、様々な基準・ガイドラインの策定や、他団体との連携などを検討している。

【セキュリティ被害調査WG（情報セキュリティインシデント被害調査プロジェクト）】

(リーダー：山本匡氏/損保ジャパン・リスクマネジメント)

2001年、2002年と継続して、被害調査を行い、被害額算定モデルを提案してきた。

今年の活動においても、前年同様なアンケートやヒヤリングによる被害調査を行い、算出モデルの精緻化を行うと共に、これらの被害の定量化について手がかりを掴みたい。

主な活動内容としては、下記の通り。

- ・ 2002年度調査の課題への対応と再調査実施。
- ・ 簡易算出方法、各種指標のさらなる拡大および整理・精緻化
- ・ 被害発生時の緊急ヒヤリング体制整備、事故情報の収集

【セキュリティベンダーとしての管理基準策定WG】

(リーダー：丸山司郎氏/ラック)

JNSA 行動指針の運用方法検討を行なう。既存会員への周知と既存会員組織内での遵守状況確認から、広報活動やアンケートの実施、運用マニュアルの作成等を検討する。

【個人情報保護ガイドライン作成WG】

(リーダー：佐藤憲一氏/大塚商会)

JNSA で個人情報保護ガイドラインを作成し、会員企業はもとより、広く市場に公開・流布することにより、企業の個人情報の取扱いに関する意識向上、各種セキュリティ対策の実施を促す。

企業における個人情報の保護対策を実施、運用する場合の標準的ガイドラインを作成中で、2003年秋頃を目処に書籍を発行予定。

【セキュリティ監査WG】

(リーダー：朝賀康義氏/アイセス)

情報セキュリティ監査制度の運用開始に伴い求められている、業界別、業態別の監査(管理)基準および監査人の質の向上について研究を行なう。主な活動予定は下記の通り。

- ・ 地方自治体向け監査(管理)基準の策定
- ・ 監査人の質の向上のためのスキルマップ作成、教育内容の検討
- ・ その他の業界向けの監査(管理)基準策定、研究

2. 技術部会

(部会長：佐藤友治氏/株式会社インターネット総合研究所)

技術部会では、今年度も成果物を作成するワーキンググループと勉強目的のワーキンググループに分かれて活動を行う。その他、予算を得た活動は、プロジェクトとして活動を進める。主なワーキンググループ活動予定は、以下の通り。

【セキュリティポリシーWG】

(リーダー：土屋茂樹氏/NTTデータ)

セキュリティポリシーの必要性は徐々に浸透しつつあるが、具体的に策定する場合、何を決めればよいのか、何を注意しなければならないのかを知っている必要がある。本WGでは、セキュリティポリシー策定のポイントを議論しながら成果を公開していきたい。

過去3年間に作成したポリシーやスタンダードをベースにして、内容の精査、新たな情報の付加、ISMSv2との親和性を考慮しながら、より使いやすいサンプルを作成していく。

【LANセキュリティWG】

(リーダー：関義和氏/ディアイティ)

802.1Xセキュリティ技術を中心に無線LAN、認証スイッチなどLANレベルのセキュリティ普及させるための活動を行う

無線LANセキュリティの技術を追跡し新たな相互接続実験の企画を検討する認証スイッチ、認証VLANの接続実験の企画を検討する802.1Xのセキュリティ機構を構築するためのガイドラインやガイドブックの検討を行う。

【インターネットVPN-WG】

(リーダー：松島正明氏/新日鉄ソリューションズ)

Internet VPNを活用した、リモートアクセス環境の導入の際に検討すべき項目や、考慮点をまとめガイドラインを作成する。

Internet VPNで使用可能なプロトコルの調査の後、検証手順に基づき実機検証を実施、その結果をもとに企業ユーザー向けのInternet VPNを利用したリモートアクセス環境導入のガイドラインを作成する。

【コンテンツセキュリティWG】

(リーダー：松本直人氏/ネットアーク)

インターネット上に存在する様々なコンテンツに関して、その流通と蓄積の方法は様々である。しかし、その流通・蓄積される過程において、コンテンツ自身が製作者、著作者の意図に反した用いられ方、取得のされ方が行われる場合がある。これに意図しないコンテンツの流通および取得に関して、技術的な立場に立ち、現在どのようなことが可能であるかを把握する調査を行い、最終的にコンテンツセキュリティに関する技術動向レポートを作成したい。

【不正プログラム調査WG】

(リーダー：渡部章氏/アークン)

トロイの木馬、スパイウェア、リモートアクセスツールなど、不正アクセスを目的としたハッキングツールが増加している。また、ウイルス、ワームも同様に近年では不正アクセスを目的としたものも少なくない。実際の不正アクセス技術ではこれらのツールを組み合わせるケースが多く、不正プログラムとその対策の調査研究を実施し、その成果を普及させる。

【PKI相互運用技術WG】

(リーダー：松本泰氏/セコム)

PKIの相互運用技術の問題を解決することによりPKIのアプリケーションの開発、PKIを使用したSIなどを促進する

Challenge PKI 2001, Challenge PKI 2002などの成果を元にIETFのRFCを作成する。その他、PKI相互運用実験を検討中

【技術用語WG】

(リーダー：佐藤慶浩氏/日本ヒューレット・パカード)

ネットワークセキュリティに関する用語の定義はあいまいな場合があり、用語の認識の違いにより、情報に誤解を生む可能性がある。本WGでは、用語の定義と解説を作成し、また、技術文書作成にあたっての英訳語集も作成することによって、用語による混乱を軽減させる。

2002年度の活動において目標が達成できていない項目を継続して実施し、用語集のWebでの公開を目指す。

【情報セキュリティ標準調査WG】

(リーダー：佐藤慶浩氏/日本ヒューレット・パカード)

技術用語WGにて、各種標準での用語が不統一であることや、認定制度自体が不明瞭であることに問題意識を持ち、認定制度そのものに焦点を置いた調査を目的とし

たWGである。

調査対象：ISO15408, 17799, ISMS, SSE-CMM

前期に作成した標準一覧表を、外部向け成果物作成を前提とするかを決定する。また、表の項目や表現方法を改善する。その後、表に調査結果を記入して完成させ、標準一覧のWebで公開を目指す。

【ハニーポットWG】

(リーダー：園田道夫氏/アイ・ティ・フロンティア)

年度前半は攻撃観測の拠点を構築して、実際に観察し、年度後半には構築方法や観測運営方法、観測結果について報告する。

【データストレージ&セキュリティWG】

(リーダー：内田昌宏氏/ネットマークス)

企業がデータの運用および保存を行う際に指標となるような管理ポリシーの作成を目指す。なお、本WGは、JDSF (Japan Data Storage Forum) 殿と協調して活動する。

【暗号使用ポリシーテンプレート作成WG】

(リーダー：板倉行男氏/アークン)

暗号管理策として暗号使用ポリシーテンプレートの策定に向けた勉強会から、テンプレート作成までを行なう予定。

【電子署名検討WG】

(リーダー：磐城 洋介氏/NTTコムウェア)

電子署名法の施行以来、様々な電子署名システムが検討／構築されているが、現状では様々な問題／課題に直面しており方式やビジネスモデルの見直しなど利便性やコスト面におけるマイナスイメージが指摘される。これらの問題をもたらした原因を洗いだし、電子署名に関する世間の認知や正しい理解を促すと共に、申請・決済・稟議・契約などの適用モデル毎に必要な要素の検討及び最終的な実装モデルを「ガイドライン」として公開することで、健全な電子社会の発展に貢献することを目的とする。

●勉強会目的のWG

【IRT 研究WG】

(リーダー：武智洋氏/横河電機)

IRTに関する日本国内外の情報交換を行い、今後考えるべき問題などについてざっくばらんな議論を行う。NIRTや企業内、業界内IRTなどを始め、国際連携など

についても、議論できる「場」を作る。WGでの議論を元に、一般への情報公開として、勉強会や報告会などを行うことも課題としたい。

【セキュアOSとその活用方法研究WG】

(リーダー：佐藤慶浩氏/日本ヒューレット・パカード)

Trusted OSなどのOSのセキュリティ機能を強化したセキュアOSについての勉強と、それを活用するための方法を調査、啓発するためのWG。初期の2ヶ月程度で勉強をして、WG参加の初心者と経験者の足並みを揃え、その後、OSの活用方法や、そのためのミドルウェアの利用方法なども勉強した上で、それらを啓発する活動を行なう。

3. マーケティング部会

(部会長：古川勝也氏/マイクロソフト)

JNSA自身の認知度向上と、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。

【セキュリティ啓発WG】

(リーダー：古川勝也氏/マイクロソフト)

10月～11月に行なう全国セキュリティ啓発キャラバンの企画検討を行なう。キャラバン開催地の選定や、使用するCD-ROMと冊子のコンテンツ作成、検討、実際の運営の協力など。

【セキュリティスタジアム企画運営WG】

(リーダー：園田道夫氏/アイ・ティ・フロンティア)

来春予定されている、不正アクセス手法の攻防の一大実験場「セキュリティスタジアム」の企画と運営のためのWGで、セキュリティスタジアムの準備、募集、調達等含めた設営と、ターゲットサーバー構築などを行なう予定。また、一連のセキュリティスタジアムセミナーの企画・運営を行なう。

4. 教育部会

(部会長：佐々木 良一氏)

ネットワーク・セキュリティ技術者の育成のために、産学協同プロジェクトを進め、大学や企業で行うべき教育のカリキュラムの検討やユーザー教育の在り方についての調査・検討などを行なう。

【スキルマップ作成WG】

(リーダー：松田 剛氏/ヒューコム)

ネットワークセキュリティ技術者を育成するために、関係するスキルのリストアップと、個々の職種・職務によって必要とされるスキルを対応させ、セキュリティ技術者が必要とするスキルの鳥瞰図を作ることを目的とする。

今年度は、経済産業省による「高度IT人材育成システム開発事業」の「ケースメソッドによるセキュリティスキルアップ教育」のプロジェクト実施が確定している。

【ITSS実証実験評価WG】

ITSS実証実験の教育効果の測定評価を目的としていて、その成果を今後のセキュリティ技術者の評価基準策定にも利用できることを目指して発足。

5. 西日本支部

(支部長：井上陽一/ヒューコム)

JNSAでなくては提供できない質の高いサービスを一丸となって提供していく。

今年度は、関西方面でのセキュリティ啓発セミナーを中心として活動を行なっていく。

5. JNSA 役員一覧

会長 石田 晴久
多摩美術大学教授・東京大学名誉教授

副会長 長尾 多一郎
株式会社ネットマークス 代表取締役社長

副会長 東 貴彦
マイクロソフト株式会社 取締役
経営戦略担当

副会長 大和 敏彦
シスコシステムズ株式会社
CTOアライアンス&テクノロジー本部長

理事(50音順)

TIS株式会社
在賀 良助

株式会社ヒューコム
井上 陽一

株式会社大塚商会
宇佐美 慎治

三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
後沢 忍

テクマトリックス株式会社
浦山 清治

ソフトバンクBB株式会社
岡村 靖

株式会社シマンテック
勝見 勉

セコムトラストネット株式会社
川上 博康

株式会社ネットマークス
亀井 陽一

トレンドマイクロ株式会社
小屋 晋吾

日本ビューレット・パッカード株式会社
佐藤 慶浩

株式会社ディアイティ
下村 正洋

新日鉄ソリューションズ株式会社
杉田 寛治

ELNISテクノロジーズ株式会社
鈴木 伸秀

エントラストジャパン株式会社
鈴木 優一

横河電機株式会社
武智 洋

日本ネットワークアソシエイツ株式会社
田中 辰夫

株式会社IDG ジャパン
玉井 節朗

NTTアドバンステクノロジー株式会社
辻 久雄

株式会社NTTデータ
中村 逸一

システムニーズ株式会社
中山 恵介

株式会社ラック
西本 逸郎

大日本印刷株式会社
野久保 秀紀

株式会社東芝e-ソリューション社
坂内 明

株式会社フォーバルクリエイティブ
早水 潔

マイクロソフト株式会社
古川 勝也

NTTコミュニケーションズ株式会社
松尾 直樹

RSAセキュリティ株式会社
山野 修

古河電気工業株式会社
吉澤 昭男

グローバルセキュリティエキスパート株式会社
若井 順一

東京海上火災保険株式会社
綿引 宏行

監事

清友監査法人 公認会計士
土井 充

顧問

東京大学 教授
今井 秀樹

新東京法律事務所 弁護士
北沢 義博

東京電機大学 教授
佐々木 良一

慶応義塾大学 教授
武藤 佳恭

早稲田大学 客員教授
前川 徹

早稲田大学 教授
村岡 洋一

奈良先端科学技術大学院大学 教授
山口 英

東京大学 教授
吉田 眞

事務局長

株式会社ディアイティ
下村 正洋

6. 会員企業一覧

(2003年7月9日現在 169社 50音順)

【あ】

(株)アークン
RSAセキュリティ(株)
(株)アイセス
(株)ITサービス
(株)アイ・ティ・フロンティア
(株)IDG ジャパン
(株)アイネス
(株)アクセス・テクノロジー
朝日監査法人
アマノ(株)
(株)網屋
アライドテレシス(株)
(株)アルゴ21
(株)アルテミス
(株)アンラボ
(株)イーツ
伊藤忠テクノサイエンス(株)
学校法人 岩崎学園
(有)インターネット応用技術研究所
インターネットセキュリティシステムズ(株)
(株)インターネット総合研究所
インテック・ウェア・アント・ゲム・インフォマティクス(株)
(株)インテリジェントウェイブ
インフォコム(株)
(株)インフォセック
(株)インプレス
ウッドランド(株)
AT&Tグローバル・サービス(株)
(株)栄光
(株)エス・エス・アイ・ジェイ
SSH コミュニケーションズ・セキュリティ(株)
(株)エス・シー・ラボ
NRIデータサービス(株)
NECソフト(株)
NECネクサソリューションズ(株)
NTTアドバンステクノロジー(株)
NTTコミュニケーションズ(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
(株)NTTデータ
(株)エネルギー・コミュニケーションズ
エムオーテックス(株)
エリアビイジャパン(株)
ELNISテクノロジーズ(株)
エントラストジャパン(株)
(株)大塚商会
オムロンフィールドエンジニアリング(株)

【か】

キヤノンシステムソリューションズ(株)

キヤノン・スーパーコンピューティングS.I.(株)
(株)ギガプライズ
(株)クインランド
クオリティ(株) **New**
(株)グローバルエース
グローバルセキュリティエキスパート(株)
クロス・ヘッド(株)
(株)コシダテック
コベルコシステム(株)
コンピュータ・アソシエイツ(株) **New**

【さ】

サイバーソリューション(株)
サン・マイクロシステムズ(株)
(株)シー・エス・イー
シーティーシーエスピー(株)
(株)シーフォーテクノロジー
(株)ジェイエムシー
ジェイズ・コミュニケーション(株)
ジェイフォン(株)
(株)CRCソリューションズ
シスコシステムズ(株)
システムニーズ(株)
(株)シマンテック
シャープシステムプロダクト(株)
Japan Cyber Security Institute
(株)翔泳社
(株)情報数理研究所
新日鉄ソリューションズ(株)
図研ネットウェイブ(株)
ストーンソフト・ジャパン(株)
住商エレクトロニクス(株)
住生コンピューターサービス(株)
セイコープレジジョン(株)
セキュアコンピューティングジャパン(株)
(株)セキュアソフト
セコム(株) **New**
セコムトラストネット(株)
(株)セゾン情報システムズ
(株)セラク
セントラル・コンピュータ・サービス(株) **New**
ソニー(株)
ソフトバンクBB(株)
ソラン(株)
(株)ソリトンシステムズ
(株)損保ジャパン・リスクマネジメント

【た】

大興電子通信(株)
大日本印刷(株)

ダイヤモンドコンピューターサービス(株)

中央青山監査法人

(株)デアイティ

TIS(株)

(株)TBCソリューションズ

テクマトリックス(株)

デジボックス(株)

(株)電通国際情報サービス

監査法人トーマツ

東京海上火災保険(株)

(株)東芝 e-ソリューション社

東芝情報システム(株)

(株)東陽テクニカ

凸版印刷(株) **New**

トップレイヤーネットワークスジャパン(株)

トリップワイヤ・ジャパン(株)

トレンドマイクロ(株)

【な】

(株)ニコンシステム

西日本電信電話(株)

日本アイ・ピー・エム システムズエンジニアリング(株)

日本エフ・セキュア(株)

(株)日本高信頼システム研究所

日本コムシス(株) IT事業本部

(株)日本システムディベロップメント

日本電気エンジニアリング(株)

日本電気システム建設(株)

日本電信電話(株) 情報流通プラットフォーム研究所

日本ネットワークアソシエイツ(株)

日本ビジネスコンピューター(株)

日本ビューレット・バックカード(株)

ネクストコム(株)

(株)ネットアーク

(株)ネット・タイム

(株)ネットマークス

(株)ネットワークセキュリティテクノロジージャパン

ネットワンシステムズ(株)

ノキア・ジャパン(株)

ノベル(株)

【は】

(株)ハイエレコン

(株)ヒューコム

(株)ビー・エス・ビー

(株)PFU

(株)日立システムアンドサービス **New**

(株)日立製作所 **New**

日立ソフトウェアエンジニアリング(株)

東日本電信電話(株)

ファルコンシステムコンサルティング(株)

(株)フォーバル クリエーティブ

富士ゼロックス(株)

富士ゼロックス情報システム(株)

(株)富士総合研究所

富士通(株)

(株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリー

富士通エフ・アイ・ピー(株)

(株)富士通ビジネスシステム

(株)フューチャーイン

(株)プラーナ

(株)プライセン

古河電気工業(株)

(株)プロティビティ

【ま】

マイクロソフト(株)

松下電工(株)

丸文(株)

(株)三菱総合研究所

三菱電機(株)情報技術総合研究所

三菱電機情報ネットワーク(株)

三菱電線工業(株)

(株)メトロ

【や】

ユーディテック・ジャパン(株)

横河電機(株)

【ら】

(株)ラック

レインボー・テクノロジーズ(株)

【わ】

ワイ・イー・ピー・ホールディングス(株)

【特別会員】

社団法人日本インターネットプロバイダー協会

特定非営利法人アイタック

ジャパン データ ストレージ フォーラム **New**

7. JNSAについて

■会員の特典

1. 各種部会、ワーキンググループ・勉強会への参加
2. セキュリティセミナーへの会員料金での参加および主催カンファレンスへの招待
3. 発行書籍・冊子の配布
4. JNSA会報の配布（年3回予定）
5. メーリングリスト及びWebでの情報提供
6. 活動成果の配布
7. イベント出展の際のパンフレット配付
8. 人的ネットワーク拡大の機会提供
9. 調査研究プロジェクトへの参画

入会方法

Webの入会申込フォームにてWebからお申し込み、または、書面の入会申込書をFAX・郵送にてお送り下さい。折り返し事務局より入会に関する御連絡をいたします。

8. お問い合わせ

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35

T.T.ランディック東陽町ビル

TEL： 03-5633-6061

FAX： 03-5633-6062

E-Mail： sec@jnsa.org

URL： <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満2-3-14

西宝西天満ビル4F（株）ヒューコム内

TEL： 06-6362-2666

編 集 後 記

長い長い梅雨が終わったと思ったら、いよいよ夏本番の到来、と思いきや今年は天候不順の夏の到来で、今年の寒い夏休みに「夏休みを返して!」と思っている人も多いことでしょう。

今回のJNSA Pressでは、新しくJNSA顧問になられた佐々木良一先生にご挨拶の文章をお願いし、また特集記事には活動報告を発表したばかりの2つのWGに執筆をお願いしました。

さらに、今年度の新たな活動も次々と始まっていて、事務局の方がJNSAの活動についていくのがやっとの状態です。

昨年11月に事務局は従来場所から隣のビルに移転して、独立の事務所を構えるようになりました。2年目からはずっと3名体制でやってきましたが、6月からはプロジェクトに伴い増員をし、現在は短期の出向者も含めて6名となっています。ところが、机はもともと4台しかなく、1台を増やし、それでも足りなくて、1人は決まった机が無く、空いている席で仕事をするというような悲しい状況になっています。

そんな中でも、私たちは仲良く和気あいあいと楽しく仕事をしています。（と思っています。。。）

10月には主催イベントNSF2003と、全国情報セキュリティ啓発キャラバンがいよいよ始まります。お近くでのキャラバン開催の折には、ぜひともご参加ください。楽しいノベルティグッズとCD-ROMと共にお待ちしております。

（事務局）